

なんでも相談窓口の設置

4月1日から各総合支所市民生活課に、なんでも相談窓口を設置します。なんでも相談窓口では、市の行政に関する事など、総合支所に来庁された方の来庁目的が円滑に達成されるよう、市民の皆様へ寄り添って対応します。

問 総務課 ☎212342

農業用免税軽油一括交付期間後の申請

栃木県税事務所では、正規の期間内に申請できなかった方の追加申請を受け付けます。交付を希望する方はご利用ください。なお、今回の申請期間を過ぎますと、1年分の全量交付ができないことがあります。

申請の際の持ち物等は、広報とちぎ1月号をご覧ください。ただ、か問合先にご連絡ください。

日時 3月6日(水)、7日(木) ※各日とも9時〜11時30分、13時〜16時
場所 栃木県庁下都賀庁舎(神田町)

問 栃木県税事務所

☎236882

とちぎ吾一奨学基金への寄附ありがとうございました

市内にお住まいの匿名のご家族から、栃木市の発展に寄与する有為な人材を育成してほしいと、給付型奨学金である「とちぎ吾一奨学基金」の原資となる篤志奨学基金に100万円の寄附をいただきました。温かいご支援に心より御礼申し上げます。

問 教育総務課 ☎212461

地域福祉基金へのご寄附ありがとうございました

栃木市女子ソフトボール大会実行委員会様より、福祉の増進に役立てて欲しいと、地域福祉基金へ31,376円ご寄附をいただきました。この寄附金は、今後、地域福祉のため役立てられます。

問 福祉総務課 ☎212202

平成30年度「市長へのアイデア便」たくさんのご提案ありがとうございました

『市長へのアイデア便』として栃木市の未来へ共に歩んでいくためのアイデアを募集したところ、71通(アイデア・ご意見・ご要望97件)の手紙が寄せられました。皆さんのアイデア等は市政のために役立てていきます。

ここで、いただいたアイデア等の一部とその回答を紹介いたします。

【アイデア1】旧栃木警察署跡地に、雨の日でも対応できるイベント会場ができることよ。宇都宮市のオリオンスクエアでは、いつも何かのイベントが開催され、盛況な様子を見ているので、栃木市にも同じようなものができることよ。

【回答】旧栃木警察署跡地の土地利用については、平成27年度に民間事業者の公募を行いました。採用事業者なしの結果となり、再開発や栃木駅前市有地の

公募の状況を踏まえ、再公募の検討を行っています。そのような中、平成30年3月に国の地方再生コンパクトシティに選定されたことから、土地利用検討にあたり、UR都市機構のコーポレート支援を受けられることとなりました。現在、UR都市機構の豊富な経験とノウハウに基づく助言を得ながら、現状や課題を整理し、旧警察署跡地に必要な機能の検討を進めており、来年度には土地利用方針案をまとめていきたいと考えています。

【アイデア2】新大平下駅の利用者のために、駅前公園ではなく駐車場を整備するか。

大平総合支所の職員駐車場を平日も開放してはどうか。

【回答】新大平下駅西口に整備中の公園については、新大平下駅前第2土地区画整理事業により、駅前広場と一体的に利用ができるよう、現在工事を行っています。公園を含めた駅前オープンスペースは、震災時の避難地、火災の延焼防止など都市の安全性を向上させるとともに、地域住民の活動の場や憩いの場として、さらには地域間の交流・連携の拠点となることを目的に設置しています。なお、土地区画整理事業において、駅周辺に駐車場を

整備する計画はありませんが、鉄道利用者の駐車場確保は大変重要であると認識していますので、地権者や鉄道事業者と緊密に調整をして参りたいと考えています。

また、大平交番に隣接した大平総合支所(仮)駐車場を、新大平下駅を利用する人のために、月曜日から日曜日まで利用できないかのご意見をいただきました。現在、土日祝日については、新大平下駅に近いことから、駅利用者の利便性を考えてご利用いただいています。平日については、支所に来庁されるお客様や公用車、職員の駐車場として使用するほか、ふれあいバスの待機場所や研修等で市有バスを利用する参加者のための駐車場などにも使っています。このような利用状況にありますことから、平日に、駅利用者の方の駐車スペースを確保することは難しいことと考えています。なお、市では総合支所や公民館などを複合化し、地域拠点施設として整備する総合支所複合化整備事業を進めており、有力な候補地の一つであるこの敷地については、今後、予定している複合化基本計画の策定の際に、駐車場のあり方などを検討していきたいと考えています。また、新大平下駅の近くには、1日貸駐車場や月極駐車場もあることから、こちらの駐車場についても利用を検討いただければと思います。

【アイデア3】災害が起きたときに、どう逃げるのか

【回答】市では、市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、全市域を対象とした総合防災訓練と小学校単位で行う地域防災訓練を行っています。訓練の内容は、災害対策本部設置、情報収集・伝達、初期消火、救出・救助などの訓練や災害に対する意識醸成・啓発を図るため、各種体験・展示などを行うほか、実際に周辺住民の方に避難していただく訓練も行っています。多くの方に参加していただくことで、地域の方々の知り、災害が起きた際の安心につながるよう、開催にあたっては、地元自治会への説明の際に訓練の目的や意義を十分説明していきます。

また、災害による被害をできる限り少なくするためには、まずは個人が日頃から災害に対する準備を整えることが大切になってきます。そして地域の方々が協力し、お互いに助け合うことも有効となります。市では、自治会等を単位に自主防災組織の設立・育成を推進しています。今後につきましても、自主防災組織の平時の活動を通して、地域の方が防災について共に考え、学び、地

域とのつながりを再認識していただけるよう支援していきます。

【アイデア4】運転免許証を自主返納した市民に対し、ふれあいバス及び蔵タクの共通乗車券の終身無料券を発行してはどうか。鹿沼市は終身無料にしている。

【回答】運転免許証自主返納支援制度については、運転免許証を自主返納した市民に対し、ふれあいバス及び蔵タクの共通乗車券の終身無料券を発行してはどうか。鹿沼市は終身無料にしている。

【アイデア5】市内にアーカイブ館を常設すること

【回答】本市には、いにしえからの歴史と伝統があり、貴重な遺産や文化財、芸能などがたくさん残っています。市民のふるさとへの愛着と誇りを育むため、本市の優れた歴史文化や芸能に触れる機会を創出することは、とても有意義なことと考えています。現在、市では、6月の県民の日に合わせて、実行委員会による「県名発祥の地『十木(とちぎ)縁日』を開催しています。この縁日では、市内の写真館のご協力をいただき、栃木の歴史写真パネル展を開催しており、本市の歴史に誇りと親近感を持つきっかけになると考えています。

「蔵の街とちぎアーカイブ館」の開設については、公的機関等が所有する写真や映像を、常時展示・上映することが出来る施設を整備し、本市の新たな魅力を発信する方法として、また、ふるさとへの愛着や誇りを育む手段として、とても有効であります。しかし常設で開催するためには、開設場所の選定や人材の確保、維持管理費、人件費等の様々な課題がありますので、他市の事例も参考としながら、今後、市民協働という観点から検討を行う必要があると考えています。

問 シティプロモーション課 ☎212317

【危機管理】

【アイデア3】災害が起きたときに、どう逃げるのか

【アイデア5】市内にアーカイブ館を常設すること

【文化振興】

【アイデア5】市内にアーカイブ館を常設すること

【アイデア5】市内にアーカイブ館を常設すること

塗り替え・リフォームをお考えの方
安心と満足が出来る地元密着店の当社へ!
自社の1級塗装技能士資格者が施工します。
日本塗装工業会会員・栃木県知事許可(般-27)第14124号
オオイク建装工業株式会社
栃木市箱森町51-28 TEL0282-22-5981 (お見積り・ご相談無料)

佐伯守美展
— 古希 —
Nouvelle Vague
2019年3月2日(土)~3月10日(日)
10:00~18:00(最終日16:00にて閉場)
会場
ぎやらりいぜん
〒328-0037 栃木県栃木市倭町7-15
TEL 0282-25-0017 FAX 0282-20-3217
現代作家・物故作家 陶磁器・絵画・掛軸・竹工芸品 買取いたします。
お気軽に当店までお問合せください。

うつ病、手足の障害、人工透析、心臓疾患、がん など
病気で悩みの方、働けない方
障害年金
相談料 0円
を申請してみませんか?
※多くの傷病が対象になります。
※支給にはいくつかの要件があります。(原則20~64歳)
0282-45-1709
吉見社会保険労務士事務所
栃木市大平町西野田363-5 セントラルビルB
ご依頼は実績豊富な
社会保険労務士へ!